

**答** 年間の申請件数が4、5件程度ではあるが、証明書オンライン申請の手続きは市全体のオンライン化の進捗に合わせて検討する。

(3/9 文教厚生委員会)

**議案** No.11

**田原観光情報サービスセンターの指定管理者の指定**

**問** 管理者を任意指定した理由は。

**答** 平成4年のオープン以来、商工会を中心としたこの会社が管理運営を一貫して行っており、そのノウハウや知識もあり、これまで施設の管理を適切に行ってきた実績も有しているため。

**問** 任意指定するメリットは。

**答** 今後も安定したサービスの確保が期待できること。

**問** 長年に渡る管理運営で業務のマンネリ化など、サービスの低下や倫理の欠如などにつながらないか。

**答** 毎年実施のモニタリング調査により評価し、必要に応じて業務のチェックを行い、情報交換を密に取りながら適正な管理運営を行うよう継続指導している。

(3/9 総務産業委員会)

**議案** No.18

**歳入全般**

**問** コロナによる減収について、実際の市税の減収の状況は。

**答** 市税全体で約13億円の減収と見込んでいる。

**問** 国からの譲与税や各種交付金の影響は。

**答** 国からの譲与税は約千2百万円、各種交付金は約5千9百万円の減収と見込んでいる。

**問** 歳入確保という観点から、予算編成時などで全庁的に指示をしているのか。

**答** 最小の費用で最大の効果を上げる予算とすることや、特別会計では独立採算の原則を徹底することを通知している。受益者負担の適正化も取り組む必要性を認識している。

**契約検査事務の運営方法**

**問** なぜ最低制限価格制度ではなく低入札価格調査制度を採用しているのか。

**答** 過去には両制度により運用していたが、最低制限価格を1円でも下回ったら失格ではなく、調査したうえで契約可能かを判断する低入

札価格調査制度を採用している。

**問** 公共工事の入札品質確保促進のためにも最低制限価格制度を導入すべきと考えるが、その考えは。

**答** 過去の経緯を含め、今時点で導入は考えてない。

**問** 工事の品質確保を図るための工事成績評定が入札で反映されていない。基準を明確にすることが重要では。

**答** 東三河各市で構成される協議会で工事成績評定の基準を県下で統一できないか、現在調整中である。

**商業団体支援事業**

**問** プレミアム付き商品券を紙商品券とデジタル商品券で発行するようだが、販売のタイミングは。

**答** 4月下旬に紙商品券を抽選で、7月下旬にデジタル商品券を先着受け付けで販売予定。

**問** 昨年8月のプレミアム付き商品券販売時には1人3セット購入できたが、今回はどうか。

**答** より多くの市民の皆さまに商品券が行き渡るよう、1人1セットの販売を予定している。

**観光推進事業**

**問** 令和3年度に温泉ソムリエサミットin田原を開催する狙いは。

**答** 温泉事業を成功させるためにはスタート時点でどれだけ全国に情報発信できるかが重要と考え、温泉を活用した地域づくりなどを考えるサミットを令和4年3月に開催したい。

**問** 温泉スタートに向けて機運を盛り上げるためにも観光プロモーションも併せて重要だと考えるが。

**答** 令和3年度から段階的に情報発信を行い、集大成として温泉ソムリエサミットを実施し、効果的に観光プロモーションを実施したい。

**問** 温泉ソムリエを増やすために地元業者に対して声かけしていくのか。

**答** 令和3年度の早い段階で、旅館組合や事業者を集めてワーキングなど開催する予定。  
(以上3/10 予算決算委員会)

**結婚新生活支援事業補助**

**問** 対象を、夫婦とも婚姻日の年齢が39歳以下で、所得が400万円未満の、新規に婚姻した世帯にした理由は。